

より密接な地域医療連携をめざして

# 地域医療連携室

Office of Community

だより

2012 VOL. 5

## ごあいさつ

奈良県立医科大学附属病院 病院長 古家 仁



平素は、奈良県立医科大学附属病院の運営にあたり、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

地域医療連携室は平成19年に開設され、以後多くの活動をして参りました。地域医療連携は、一定の地域の中で医療機関が相互に連携し、患者さんが効率的・効果的に診療を受けることができるように組織的に活動することが目的です。大学病院は規模が大きいので診療を受けるのにどうしても時間がかかります。また、地域の病院や診療所の先生方とのコミュニケーションも取りにくい状況があります。そういった問題点を少しでも軽減し、患者さん中心の医療ができるようにネットワーク型の医療連携の推進を目指して設立いたしました。

たとえば、待ち時間の短縮を目的として、「紹介患者さんの初診予約」を全診療科で実施しております。入院前から、入院中、退院後の平均的な一連の流れをパスとして示し、患者さんが自分の病気の流れを知ることができるよう、脳卒中地域医療連携パスやがんの連携パスを実施しております。また在宅へ復帰される患者さんへの支援体制の整備も図っております。

こういった取り組みは多くの大学病院や地域の病院で行われています。しかしその情報がなかなか患者さんや診療所の先生方には伝わっていなかったり、理解できていなかったりします。また実際にこういったシステムを上手に使うためには、病院に行ってから手続きをするだけでなく前もって病院に来る前に書類作成などを行っておくこともあります。奈良医大ではホームページ (<http://www.naramed-u.ac.jp/~chiiki/>) にいろいろな情報を掲示しております。また病院の窓口でも相談をすることができます。気軽におたずねください。また、患者さんや医療機関から問題点のご指摘などをいただき改善していきたいと思っております。

今後とも皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 形成外科センターがスタートしました。

### 形成外科 桑原 理充

平成24年4月1日から皮膚科外来の一部を改修して、新しく形成外科センターを開設致しました。

形成外科は、多くの医学部、医科大学で独立しており、世間一般にその必要性、有用性が認識されています。しかし、奈良では形成外科がどのような診療科であるのかについて、患者さんだけでなく医療関係者にもまだよく理解されているとは言えません。「整形外科とどう違うのか?」「美容整形のことですか?」と聞かれることもしばしばあります。院内に形成外科診療が標榜されて、7年ほどになりますが、形成外科宛の紹介患者さんは、県内からよりも、むしろ県外からの方が多状態です。

形成外科は外科の一分野で、主な診療内容は、体表の先天性の異常、顔面骨骨折を含む外傷や、変形、癌を手術した後の欠損や変形、皮膚の良性・悪性腫瘍、顔面神経麻痺、眼瞼下垂、睫毛内反など主に顔のけがや外見上の変形(色)、機能改善、組織の欠損に対する治療を行っています。当院においても、広範囲の皮膚腫瘍、耳鼻科、口腔外科の頭頸部腫瘍切除後の再建、さらに外科系各科からの広範囲組織欠損症例などについて、生命維持に必要なレベルはもちろんのこと、それ以上を求める患者さんの様々なニーズに対応しています。尚、皮膚腫瘍は明らかに良性であると考えられる症例でも、まず、皮膚科を受診していただきますようお願い致します。その後、必要に応じて形成外科に紹介いただく予定です。いわゆる美容外科も学問的には、形成外科の範疇に含まれますが、現在のところ大学病院では行っていません。

当センターは、1993年より形成外科学会認定研修施設として認定を受けた皮膚科を主な母体として発足しました。これまで7名の形成外科専門医を輩出しています。現在のところ診療体制は専従医3名という、小さな所帯です。より安全、確実、患者さんに喜んでもらえる様な治療を積み重ねて行きたいと考えております。全身麻酔手術日は、火曜・木曜。外来は主に月、火、水、金の午前で診させていただいております。外科系各科の先生方の手術に役に立てるよう頑張っております。手術内容、日時を是非相談いただけますようお願い致します。



#### 診察日、担当医師 ※午前の診察になります(平成24年5月現在)

月	火	水	木	金
桑原 理充	谷口 晃	浅井 英樹		山中 佑次





## ごあいさつ

### 地域医療連携室長 小林 浩



このたび平成24年4月から地域医療連携室長を務めさせていただくことになりました産婦人科の小林 浩です。

本来医療は県民それぞれが居住する地域コミュニティーで完結されるべきです。しかし万一、重篤な疾病が発生し救命救急処置を必要とする場合には、高次医療機関である奈良医大がその役目を担うべきと考えます。その後病状が安定し、あるいはケアを要する場合には地域コミュニティーや在宅において、医療・福祉・介護を切り離すことなく、県民一人一人を大切に見守っていく必要があります。

そのためにも地域医療連携は奈良県全体の医療にとって根幹をなすものであり、本システムがスムーズに運用されることが県民にとって大きなメリットに繋がります。地域医療連携室では、初診紹介患者予約、セカンドオピニオン相談受付、外来患者逆紹介、退院・通院調整、地域医療連携パスの運用、診療支援、広報活動など行っております。

これからも地域医療の充実を図るため、連携先の先生方や事務の方々ともface to faceでお付き合いさせていただきたいと考えております。引き続きご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



### 地域医療連携室長補佐 谷 久代



平成24年4月から地域医療連携室長補佐を務めさせていただくことになりました谷 久代です。当室では、現在20名（地域看護専門看護師1名・看護師1名・医療ソーシャルワーカー8名・事務職10名）の優秀なスタッフに恵まれ、役割を分担し日々努めております。

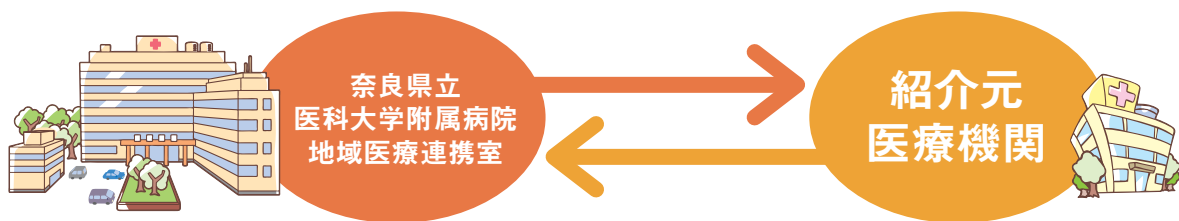
団塊世代が75歳を迎える2025年問題は大きな障壁です。2012年度診療報酬改定においても医療と介護の役割分担と地域連携体制の強化が重点課題として掲げられました。地域医療連携室の役割はますます重要になります。今まで以上に地域の医療機関の皆様方とのつながりを密にして更なる充実を図ってまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

# 前方連携

## 逆紹介のご案内

地域医療連携室では、病病・病診連携を推進しております。当院は特定機能病院であることから、当院での診療が終わられた患者さんは、原則として紹介元医療機関へお戻りいただいております。また、必要な患者さんにつきましては、専門性のある医療機関へ紹介させていただいております。

紹介予約患者さんにご理解いただき、初診紹介患者予約システムの利用をお願いいたします。



## インターネット予約

平成22年5月から3診療科でトライアル開始しておりましたが、平成24年5月からは、下記18診療科での予約が可能となりました。

診療科によりましては、専門枠がございますので、確認のうえご利用いただきますようお願いいたします。(事前にユーザー登録が必要となりますので、地域医療連携室までお問い合わせください。)



### 診療科

消化器・内分泌代謝内科 (インターフェロン)	神経内科
消化器外科・小児外科・乳腺外科	脳神経外科
心臓血管外科・呼吸器外科	整形外科 (手・末梢神経・肘)
歯科口腔外科	産婦人科
眼科	耳鼻咽喉科・甲状腺外科
皮膚科	泌尿器科
放射線科	放射線治療・核医学科 (乳がん治療)
麻酔・ペインクリニック科	総合診療科
リウマチセンター	形成外科センター

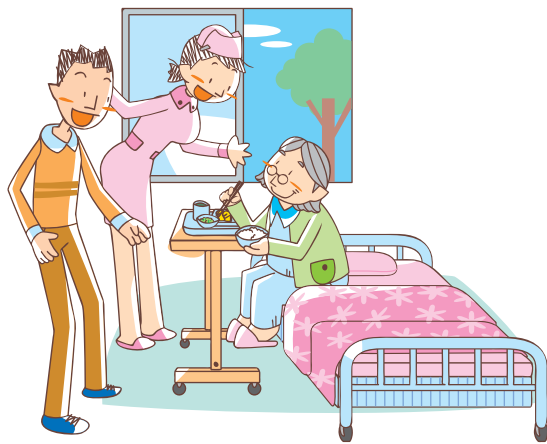
# 後方連携

## がん地域連携クリティカルパス

当院でも平成23年度より奈良県がん地域連携クリティカルパス（胃がん、肺がん、大腸がん、肝臓がん、乳がん）の運用を開始しております。

特定機能病院である当院の機能から、パス運用での逆紹介が行える患者さんは限られると考えられますが、地域の医療機関の皆様と病診・病病連携を進め、地域完結型の医療の提供を目指し、運用を進めて参りたいと思います。

診療科から連絡を受け、当室のMSWが患者・家族さんと面談を行い、連携先医療機関へ連絡します。パスの種類によりご連絡のタイミング等が異なる場合があります。まだまだ運用方法についても手探りの状況ですので、地域の医療機関の皆様とご相談しながら勧めて参りたいと思います。ご不明な点など気軽にお問い合わせください。よろしくお願い致します。



## 地域医療連携連絡協議会 新規入会のご案内

奈良県域にある医療機関相互の連携を推進することを目的とし、地域連携クリティカルパスの開発や運用実施、地域連携に関する情報交換などを行います。地域医療連携の実務に関わる医療職及び事務職担当者によって構成されていますので、情報の共有や課題を検討する有益な機会を得ることが出来ると考えております。

現在は「脳卒中部会」「肺がん部会」を設置し、15医療機関が加入。今後は「在宅医療部会」の立ち上げも検討しております。入会希望やお問い合わせは奈良医大 地域医療連携室までご連絡ください。新規入会を歓迎しております。



## 第7回

# 地域医療連携懇話会 開催報告

平成24年3月1日(木)午後6時より奈良県立医科大学巖櫃会館にて、第7回地域医療連携懇話会を開催いたしました。「奈良県の周産期医療ネットワーク構築のための地域医療連携」をテーマに奈良県立医科大学産婦人科学小林浩教授にご講演いただきました。

当日は医師や看護師のほかにも保健師や助産師等、様々な職種の方のご参加があり、今後の奈良県の周産期医療における課題や展望について、ご質問や貴重なご意見をいただきました。



## 第7回 地域医療連携懇話会 アンケートより

- 奈良県の周産期の現状がわかった
- 医療が十分でない地域における遠隔治療の進歩について、その研究開発が進み具体的に奈良県でも進んでいることを知ることができた。生活者を大切にしながら進めていこうとする思いも理解でき良かった
- 在宅医療実用化に向けた取り組みが面白かった
- 医療関係者だけでなく、県民がもっと参加できるようにしてもらいたいが、質問等をきいていると医療者同士が話し合うことの良さもよくわかった



などのご意見・ご感想をいただきました

## 第8回 地域医療連携懇話会

**日時** 平成24年10月4日(木) 18:00 ~ 20:00

**場所** 奈良県立医科大学 巖櫃会館(3階大ホール)

**テーマ** 「地域医療連携パスの成果と今後」

多数のご参加をお待ちしております